



馬鈴薯・ブロッコリー
令和2年度産出荷終了

J A管内で、令和2年度産馬鈴薯とブロッコリーの出荷が終了しました。

馬鈴薯は5月上旬で終了。関東市場を中心に出荷し、出荷量は3113ト、販売高は6億9092万円となりました。

昨年11月中旬の気温の上昇で、一部で青枯れや疫病の発生が見られましたが、その後は天候に恵まれ、生育は順調。高値取引が続ぎ、大幅な増収となりました。

12 つくば農業 つかば農業

ブロッコリーは6月上旬で終了。鹿児島県くみあい食品(株)を通じて大型スーパーなどで販売。出荷量は667ト、販売高は2億0004万円となりました。

昨年11月中旬の干ばつの影響があったものの、品質は良好。面積も前年度よりも16・5畝多い96畝に拡大したことで、取扱量も増加しました。

収穫作業や技術などの負担が比較的少ないブロッコリーに人気が集まり、サツマイモの裏作としても定着しています。



J A職場体験
中種子中学校3年生

種子島家畜市場と中種子野菜集荷所で5月18日、中種子町立中種子中学校の職場体験学習が行われました。

家畜市場では、子牛せり市の、上場直前に行う子牛の体重測定業務を体験。午前中に144頭が上場され、移動してきた子牛の体重と入場番号、生産者氏名を確認しました。

同校生徒の稲子一颯さんは「職場体験学習は初めてで、どのような作業をすれば良いか戸惑い大変だったが、子牛

4 読の多い読書と 読んだら

せり市に参加し、牛がどのように出荷されていくのか知れてよかった」と話しました。

野菜集荷所では、ブロッコリーの出荷作業を体験。生産者が収穫したブロッコリーを出荷用の箱に並べ、氷を入れて出荷コンテナへ運びました。

同校生徒の大山ひかりさんは「農産物の出荷過程を知ることができてよかった。自分が出荷作業に携わった野菜がスーパーに並ぶと思うと嬉しい」と話しました。

